

みんなのサロン

御坊幼稚園の巻

おとうさん、あのね…



きだ ひなとくん(5さい)

おかあさん、あのね…



みはら ゆまちゃん(5さい)

おかあさんといっしょに
またみかんのおしごとしたいな
みかんでりょうりもして
みたい★

バスの運転手になりたい！



ばくの将来の夢は、バスの運転手です。きっかけは、この間の修学旅行の時のバスの運転手さんが「バスの運転手は、乗っている人全員の命を守ることが大切な仕事だ。」と言つていて、とてもかつこいいと思つたことです。ぼくがもし、バスの運転手になれたら乗っている人全員の命を守りたいです。そのためにも、今は自分や家族、友達の命を守れるようにがんばっていきたいです。

ぼくの夢 わたしの夢

おおぬま ときさだ
大沼 時寧くん
名田小学校6年



古代ケルト人は、季節の始まりと終わりを告げるために、毎年4つの主要なお祭りを行っていました。10月の最終日から11月の初日まで続く「サウイン」は、秋の終わりと寒い冬の始まりを告げる祭りです。夏の牧草地から牛を下ろし、冬の肉となる家畜を屠殺し、冬を越すために必要な暖かさを象徴するために焚き火をしたのです。

この時代は、生者の世界と「あの世」（死者の国、当時の神々「エイオス・シー」の住む国）の間のベールが弱くなっています。また、外出時にはエイオス・シーから身を隠すために仮面をかびりました。このように精霊から身を守る必要があつたことから、多くの西洋の国々で大人気となつたもうひとつ儀式が生まれました。それは、カボチャの彫刻です。今では、かぼちゃに顔を彫り、中に火のついたろうそくを入れて、窓辺に飾る人が多くなりました。最近は遊び感覚でやつているようですが、昔はこのおどろおどろしいランタンが家庭の魔除けになっていたそうです。この時代、アイルランドにはカボチャが伝わつていなかつたので、人々はカブをかに恐ろしかったのです！



(古代のカブを彫刻したもの)

エイニーの花まるエッセイ

ハロウィンの古代史